



円谷幸吉・レガシーサルビアの会

思いを一つに「サルビアの道」ふたたび

Sukagawa, Fukushima

活動記録誌

2018.12～2022.3

協力してくださったすべての方へ
感謝を込めて



活動記録誌の発刊にあたって

円谷幸吉・レガシーサルビアの会 会長 安藤 喜勝

本会の活動に対しましては、皆様からのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。2018年12月、「サルビアの道 ふたたび」をスローガンに私たちの活動は始まりました。1964年東京オリンピックマラソンの銅メダリストで郷土の英雄・円谷幸吉選手の顕彰と東京2020オリンピックを盛り上げるため、幸吉選手の兄・喜久造さんによって50年以上にわたり受け継がれたサルビアを用いて、様々な市民活動を行ってまいりました。



昨年は、1年の延期を経て東京2020オリンピックが開催され、スポーツ界が盛り上がりを見せましたが、本会においても、福島県をスタートした「聖火リレー」の須賀川市通過にあわせ、57年前と同じ「サルビアの道」を復活させることができました。

真っ赤に咲き誇るサルビアと喜久造さんが見守る中、幸吉選手の盟友である君原健二さんが本市の最終ランナーとして走り、幸吉選手の写真を胸に忍ばせゴールした姿に感動し、君原さんへの感謝の気持ちが溢れました。市民の心に残る須賀川ならではの聖火リレーになったものと感じており、その一翼を担えたことに会員一同、大変感動しております。

また、本市出身としては幸吉選手以来、57年振りのオリンピックとなった相澤晃選手が、「第二の円谷」として東京2020オリンピックに出場し、幸吉選手の座右の銘である「忍耐」の走りで多くの市民に勇気と感動を与えていただきました。そして、相澤晃応援団の皆様と共に応援できたことも大きな喜びであり、運命的な出来事でもありました。

本会の活動を振り返りますと、幸吉選手の後輩にあたる須賀川一小、一中の子ども達とのサルビアの飾花作業に始まりました。相澤晃選手などを迎えたシンポジウムの開催、東京2020オリンピックが1年延期となり「忍耐」の言葉とともに街なかを飾った「サルビアの道」、また、城南信用金庫やしながわ花海道の皆様など、全国各地に新たな「絆」も生まれました。

さらには、サルビアを温かく見守っていただいた「里親」の皆様をはじめ、聖火リレーでの須賀川高校、須賀川桐陽高校の生徒達による「サルビアの道」再現など、本会の活動に際しては、多くの皆様に常に快くご支援いただきました。ここに、改めて感謝申し上げますとともに、幸吉選手が市民の誇りであり、市民に愛されていることを改めて実感いたしました。

幸吉選手の走りはいつも精一杯で、真っすぐと前を向き、常に全力を出し切る。誠実なその姿は、幸吉選手の生き方そのものです。そして、兄・喜久造さんが深い愛情と情熱を持って受け継がれたサルビアによって実現した、もう一つの「聖火リレー」。このレガシーを継承する一助になればとの思いからこの活動記録誌を作成いたしました。今後も、多くの方々によって郷土の英雄である円谷幸吉選手の顕彰が続いていくことを願っております。

結びに、本会の活動にご賛同いただき協賛いただいた皆様をはじめ、ご支援ご協力を賜りました全ての皆様に、改めて御礼と感謝を申し上げ、挨拶といたします。

感謝

円谷幸吉・レガシーサルビアの会 顧問 円谷喜久造
(円谷幸吉選手の実兄)



いつもお世話になっております。

1964年東京オリンピックの聖火リレーは、農作業が忙しく見ることはできませんでした。オリンピックが終わった10月に聖火リレーの応援に使用されたサルビアをいただき、毎年花を咲かせ、種を引き継ぎながら大事に育ててきました。

サルビアは、マラソン選手と同じで、大事に一生懸命育てれば、期待に応えて、きれいな真っ赤な花を咲かせてくれます。私はそんなサルビアが大好きです。

昨年3月に行われた聖火リレーでは、幸吉の盟友である君原健二さんが、「第二のふるさと須賀川での聖火リレー。幸吉君が走れない分まで私が走ります」と、ユニフォームの下に幸吉の写真を忍ばせ、一緒に走っていただきました。

私が大好きなサルビアに囲まれ、幸吉の50年来の盟友である君原さん、円谷ランナーズの子どもたち、そして幸吉と一緒に聖火リレーに参加でき、今でもその感動は忘れません。天国にいる幸吉も、さぞ喜んでいただろうと思います。また、幸吉の誕生日である5月13日には、街なかにサルビアを飾っていただくなど、感謝の気持ちでいっぱいです。

結びに、円谷幸吉・レガシーサルビアの会の皆様をはじめ、幸吉のためにご尽力いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

円谷幸吉・レガシーサルビアの会

設立趣旨

須賀川市は1964年東京オリンピック男子マラソン競技で銅メダルを獲得した、円谷幸吉選手の出身地です。幸吉選手の残した数々の偉業は、市民の誇りであり、この偉業を後世に伝える事は、私たち市民の義務の一つでもあると考えております。

また、1964年東京オリンピックでは、聖火リレーの通過を歓迎し、先輩である幸吉選手を応援しようと須賀川高校生徒会が立ち上がり、サルビアの花を沿道に飾って「サルビアの道」を創り上げ、多くの市民の協力を受けながら幸吉選手を応援し、東京オリンピックの機運を盛り上げました。その時のサルビアの種を、幸吉選手の兄である円谷喜久造さんが譲り受け、代々育てて今日に至っています。

私たちは幸吉選手の偉業を後世に伝えるとともに、50年以上前から脈々と受け継がれたサルビアの花を用いて、東京2020オリンピックを盛り上げる市民運動を再び起こすべく、賛同する各種団体を構成員に「円谷幸吉・レガシーサルビアの会」を設立し、各種活動を行うこととしました。

設 立 2018年12月21日

構成団体 須賀川市体育協会
須賀川高校同窓会
須賀川南部地区町内会協議会
須賀川商店会連合会



2018.12.21 設立総会終了後、橋本克也須賀川市長に会の設立を報告

平成30年度事業

月日	内容	参加人数
12月21日	設立総会	22
1月29日	新春シンポジウム	45
3月1日	役員会	10
3月下旬～	活動協力依頼	—

新春シンポジウム

2019.1.29
市民交流センターtette

第1部 基調講演「東京五輪銅メダリスト 円谷幸吉」

講師 須賀川市立博物館長 安藤 清美 さん（現在は離職）

幸吉選手の幼少期やマラソンとの出会いなどを、エピソードを交えながら紹介。東京オリンピックの場面では、国立競技場の熱狂を臨場感あふれる語り口で来場者を魅了していました。



第2部 シンポジウム「円谷幸吉と1964東京オリンピック」

～あのサルビアの道 再び～

コーディネーターの宗方さんを中心に、1964年の聖火リレーについて、それぞれの想いが語られました。

当時の須賀川高校と須賀川女子高校の生徒会が中心となり、両校の生徒たちが協力して「サルビアの花・いっぱい運動」や「一人一鉢運動」を行ったこと、聖火リレーでは800人の大パレードになったこと、素焼きの鉢の管理と水やりが大変で、町内会にお世話になったことなどが紹介されました。

2020年の聖火リレーも、子どもたちや中学生・高校生などを交え「地域のみんで」盛り上げたいという意見でまとまりました。



コーディネーター
円谷幸吉・レガシーサルビアの会顧問
宗方 保 さん



パネラー
須賀川高等学校同窓会会長
円谷幸吉・レガシーサルビアの会副会長
小栗山 茂 さん



パネラー
須賀川高等学校同窓会顧問
阪路 裕 さん



パネラー
旧須賀川女子高等学校同窓会
吉田 静枝 さん

令和元年度事業

月日	内容	参加人数
5月10日	移植作業協力依頼 (須賀川一小、須賀川一中)	2
5月14日	サルビア移植作業	7
5月17日	役員会	10
5月22日~ 6月18日	企業訪問(協賛依頼)	14
5月29日	資材等運搬作業(移植用培 土、プランター運搬)	4
6月6日	サルビア移植作業 (須賀川一小:300鉢)	105
6月10日	サルビア移植作業 (須賀川一中:500鉢)	300
6月17日	液肥散布作業	2
6月27日	サルビア移植作業 (大黒池防災公園 200 鉢)	7
7月8日	液肥散布作業	3
7月11日	道路管理者協議	2
7月12日	補植作業(防災公園)	2
7月17日	土補充作業	4
7月24日~ 7月25日	聖火リレーコース沿いサルビ ア配置作業(須賀川高校生)	64
7月29日~ 8月27日	サルビア管理作業(水やり)	42
8月8日	液肥散布作業	3
8月28日	サルビア回収作業 (枯れや育成不良)	5
11月7日	サルビア撤収、プランター洗 浄作業	9
12月12日	プランター洗浄作業	7
12月17日	聖火リレールート発表	20
12月18日	プランター洗浄作業	6
1月6日	聖火リレー協力依頼 (須賀川高校)	2
1月8日	幸吉選手の墓参り、役員会	15
1月14日	聖火リレー協力依頼 (須賀川桐陽高校)	2
2月8日	2020 シンポジウム (グランシア須賀川)	360
2月10日	聖火リレー協力依頼 (須賀川桐陽高校)	2
2月12日	聖火リレー協力依頼 (須賀川高校)	2
3月19日	聖火リレーに関する打合せ (須賀川一小、須賀川一中、須 賀川高校、須賀川桐陽高校)	1
3月23日	東京オリパラ組織委員会は、 大会が一年延期のため、3月 26日から予定していた聖火 リレーの中止を決定	-
3月23日	役員会・総会	10
3月28日	「円谷幸吉メモリアルパーク」 除幕式	100

サルビア移植

2019.5.14
協力:フラワーセンター



喜久造さんが大切に育て続けた種から、フラワーセンターの協力を得て花苗を約3000株まで増やしました。

その花苗をトレーからポットへ移植しました。

企業訪問

2019.5.22~6.18
須賀川市内



本会の趣旨をご理解いただき、たくさんの企業・団体・個人の皆さまにご協賛いただきました。

須賀川信用金庫 様



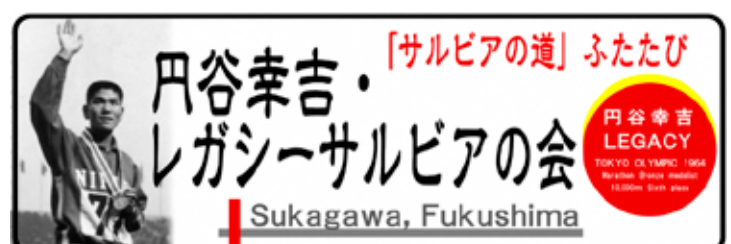
株式会社釜屋 様

プランターシール貼り

2019.5.27
協力:すばる作業所



思いを込めて、オリジナルステッカーを貼り付けしました。



プランター用ステッカー 第1弾

サルビア移植作業 ①

2019.6.6
協力:須賀川一小



幸吉選手の母校である須賀川一小の6年生(72人)とプランター300鉢の移植作業を行いました。日差しあふれる中、苗が傷つかないように丁寧に作業を行いました。

サルビア移植作業 ②

2019.6.10
協力:須賀川一中



雨天となりましたが、幸吉選手の母校である須賀川一中の全校生徒(270人)とプランター500鉢の移植作業を行いました。数が多く苦労したものの、生徒たちは積極的に作業に取り組み、一本一本気持ちを込めて植えました。

サルビア配置作業 「サルビアの道」が半世紀ぶりに復活

2019.7.24~7.25

協力:須賀川高校



大黒池防災公園と須賀川一中で管理していたサルビアが、真っ赤に満開の花を咲かせました。幸吉選手の母校である須賀川高校の生徒たちの協力により、聖火リレーのコース沿いである松明通りを中心に、約3km区間にサルビアを700鉢飾りました。花の盛りが終わる秋まで飾られたプランターに、毎日水やりをしていただいた商店会や近隣の皆さま、ご協力ありがとうございました。

サルビアが市内を彩りました 2019年夏



円谷幸吉メモリアルホール



須賀川アリーナ



福島空港



須賀川高校



須賀川一中

聖火リレールート発表

2019.12.17

円谷幸吉メモリアルパーク(旧 大町よってけ広場)



東京2020組織委員会より聖火リレーのルートが発表され、本市は駅近くの栄町交差点から松明通りを南下し、tette 前を通過、大町よってけ広場(幸吉選手記念碑前)で折り返し、須賀川市役所にゴールする2.6kmに決定しました。大町町内会・南部地区町内会協議会とともに、ルート決定に歓喜し、本会が目指す聖火リレー当日の「サルビアの道」の再現を誓いました。

円谷幸吉メモリアルパーク除幕式

2020.3.28

円谷幸吉メモリアルパーク(旧 大町よってけ広場)



この公園は、幸吉選手の生誕地のほど近くにあり、足型や写真が入ったモニュメント、座右の銘である「忍耐」の石碑などがあります。

聖火リレーが公園を通ることを記念し、須賀川市は「円谷幸吉メモリアルパーク」に改名し、除幕式を行いました。

本会は、式典に合わせて隣接する倉庫に設置されていた幸吉選手の写真パネルを新調しました。

また、会場にサルビアを270鉢設置して祝いました。

なお、本来は聖火リレーに合わせて除幕式を行う予定でしたが、コロナ禍で1年延期となり、除幕式のみが行われました。

基調講演 もっと知りたい箱根駅伝～歴史を紡いで100年の継走～

講師 箱根駅伝ミュージアム 副館長 川口 賢次 さん



100年続く箱根駅伝の歴史や魅力を紹介。また、この講演では県内の箱根駅伝歴代出走者の資料などが配付され、ユニフォームの胸のマークや襷の色の解説など、さまざまな観点で語られました。今後の箱根駅伝をますます楽しく応援できる講演内容に、来場者からは好評の声が届きました。

パネルディスカッション テーマ「夢は箱根で終わらせない」

コーディネーターにはラジオ福島の深野さんをお迎えし、国士館大学駅伝監督の添田正美さん(岩瀬中卒)、箱根駅伝2区で区間新を記録し、大会MVPに輝いた当時・東洋大学4年の相澤晃選手(長沼中卒)など、全国で活躍する本市出身者を招いて、パネルディスカッションを行いました。

それぞれのふくしま駅伝の思い出や、相澤選手の学生時代の印象など、エピソードが披露されました。

当初、定員を150人としていましたが、予定を大幅に上回る希望があり、360人まで増やしました。来場者一同、幸吉選手に続くオリンピック誕生の期待に胸を膨らませ、帰日には、サルビアの苗を配布して、大盛況のもと開催することができました。

なお、相澤選手のライバルで、箱根駅伝7区で区間新を記録した明治大学卒の阿部弘輝選手(現 住友電工所属)も須賀川市出身です。本会は2人のアスリートをこれからも応援します。



コーディネーター
ラジオ福島アナウンサー
深野 健司 さん



パネラー
岩瀬郡市陸上競技協会長
ふくしま駅伝市チーム監督
安藤 昭人 さん



パネラー
郡山自衛隊
円谷ランナーズ指導者
加藤 将士 さん



パネラー
国士館大学
陸上競技部駅伝監督
添田 正美 さん



パネラー
東洋大学4年陸上競技部
長距離部門主将(現 旭化成所属)
相澤 晃 選手

令和2年度事業

月日	内容	参加人数
4月2日	西村美研(東京都調布市)へサルビア発送(15鉢)	1
4月3日	市内小・中学校へサルビア贈呈(25校×20鉢=500鉢)	9
4月7日	市内高校へサルビア贈呈(4校×20鉢=80鉢)	2
4月10日	農林中央金庫との協議、サルビア視察	2
4月16日	城南信用金庫(東京都品川区)へサルビア発送(150鉢)	2
4月16日	テント、散水タンク等片付け	7
4月27日	「サルビアの道」飾花用の鉢清掃等(750鉢)	10
4月30日	役員会	10
5月1日~	「サルビアの道」里親募集	20
5月11日	農林中央金庫へサルビア発送(800鉢)	5
5月13日	サルビア移植・飾花作業(600鉢、3000本)	30
5月13日	里親によるサルビア管理	200
6月24日	福島県公式 facebook に掲載(「サルビアの道」事業)	1
6月26日	NHK サンデースポーツスペシャル取材(「サルビアの道」事業)	1
6月27日	しる古会主催 サルビア配布	2
6月28日	NHK サンデースポーツスペシャル取材(「サルビアの道」事業)	11
7月3日	NPO法人しながわ花海道へサルビア発送 800本	5
7月12日	NHK サンデースポーツスペシャル放送(「サルビアの道」事業)	—
9月1日	役員会	4
9月12日	サルビア追肥・回収作業	26
10月8日	ウルトラFM 円谷幸吉選手ヒストリースペシャル特別番組放送	5
11月22日	サルビア回収作業	30
11月22日	役員会	7
12月17日	相澤晃選手東京2020オリンピック代表内定懸垂幕掲揚	3
1月8日	幸吉選手の墓参り、役員会	15
2月22日	聖火リレー協力依頼(須賀川高校)	2
3月10日	役員会・総会	10
3月18日	ウルトラFMで聖火リレー関係団体紹介の放送	2
3月18日	プランター洗浄	20
3月19日	「サルビアの道」事業協議(関係団体)	2
3月27日	東京2020オリンピック聖火リレー(須賀川市通過)「サルビアの道」再現(会員、須賀川高校、須賀川桐陽高校、円谷ランナーズ 外)	300
3月27日	相澤晃応援団へサルビア贈呈	60

県外にも里親の輪が広がる



城南信用金庫 様

新型コロナウイルスの感染拡大により、東京2020オリンピックが1年延期となり、聖火リレーは開始2日前に中止が決定されました。半年以上前から準備して、市の聖火リレーコースを彩るはずだったサルビアの花たち。このサルビアの一部は、4月3日に市の小・中学校に贈呈し入学式に飾られました。

また、県外からも支援の輪が広がり、東京の城南信用金庫様から須賀川信用金庫様を通して本会への支援を提案いただき、城南信用金庫本・支店に本会の紹介パネルとサルビアが飾られ、須賀川信用金庫様には、サルビアの運搬費用のご協力をいただきました。また、その輪はさらに広がり、農林中央金庫様、NPO法人しながわ花海道様にもご支援いただきサルビアが飾られ、運搬費用も含めてご協力いただきました。

これらの取り組みは、ジャーナリストの池上彰さんが監修する人の温かい心が感じられるニュースを集めた本「日本の明るいニュース」にも掲載されました。

西村美研(15鉢)	2020.4.2
城南信用金庫(150鉢)	2020.4.16
農林中央金庫(800鉢)	2020.5.11
NPO法人しながわ花海道(800本)	2020.7.3



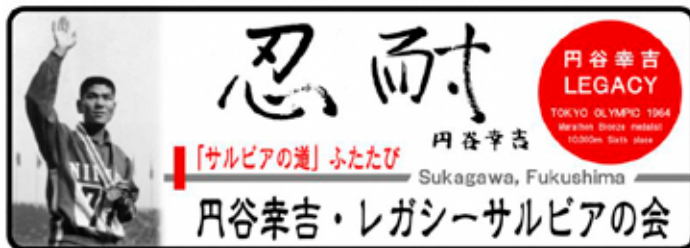
NPO法人しながわ花海道 様

サルビア移植・飾花作業

2020.5.13
協力: フラワーセンター



幸吉選手の生誕80周年を迎えた13日、事業2回目となる「サルビアの道」再現のため、移植作業と配置作業を行いました。
600鉢(3,000本)は、円谷幸吉メモリアルパークや聖火リレーのコース沿いである松明通りを中心に飾りました。



プランター用のステッカーデザインは、新型コロナウイルス感染拡大で外出自粛が長期化する中、一致団結して苦難を乗り越えたいとの思いから、幸吉選手の座右の銘である「忍耐」の文字を記しました。

プランター用ステッカー 第2弾

NHK 取材

2020.6.26, 28 (7.12 放送)



サンデースポーツスペシャルで「サルビアの道」再び 聖火リレーを願う町として、本会の活動が紹介されました。

サルビアが市内を彩りました 2020年夏

11月までの半年間、夏の暑い日も里親の皆さんにはサルビアの管理や水やりをしていただき、心から感謝いたします。



サトウスポーツ前



瑞穂不動産前



錦屋本店前



玉木屋前



tette前



円谷幸吉メモリアルパーク

サルビア追肥作業 2020.9.12



5月に配置し、里親の皆さんに管理作業をお願いしていたサルビアは、3カ月が経過し、多少勢いのない鉢、枯れてしまった鉢と様々な状態になっていたため、追肥の施しや枯れた鉢の回収作業を実施しました。

追肥後のサルビア 2020.10.13

11月20日まで沿道を飾りました。



ドルチェ前



結の辻



北町付近

2021年3月の聖火リレーに向けて準備

協力: フラワーセンター
2020.11~2021.3



1年延期となった聖火リレーの「サルビアの道」を、今回こそは実現できるよう、フラワーセンターの全面協力のもと秋から準備を進めました。

燃え立つような濃い鮮やかな赤色の花が群れ咲く様子は、サルビアならではのもの。

聖火に見立てた1964年の想いと、東京2020オリンピックに向けて本会に関わるすべての方の思いが込められたサルビアです。

相澤 晃 選手が 東京2020オリンピック陸上競技 10000m の日本代表に内定

2020年12月4日 日本陸上競技選手権大会
長距離種目 10000m 優勝(27分18秒75・日本新記録)

忍耐の走りで、幸吉選手以来57年ぶりのオリンピックが
誕生しました。

Profile

1997年7月生まれ。長沼中学校・学法石川高校・東洋大学 卒業。

2020年4月に旭化成入社。

小学校時代に「長沼ランナーズ」で走ることにふれ、中学生で「円谷ランナーズ」に所属し本格的に陸上を始める。中学3年の時に全日本中学校陸上競技選手権3000mで10位の実績を残し、陸上強豪校である学法石川高校、東洋大学へと進学。大学4年生では、三大駅伝(出雲駅伝、全日本大学駅伝、箱根駅伝)のすべてで区間新記録を樹立し、箱根駅伝2区は驚異的な記録で金栗四三杯(大会 MVP)を獲得した。



提供/日本陸上競技連盟

東京2020オリンピック聖火リレー

福島県3日目
2021.3.27(県内最終日)



～須賀川を赤く彩る～

サルビアを聖火リレールートに設置

天候に恵まれた当日。午後2時41分にスタートする聖火リレーに間に合うよう、午前中から総動員で作業を開始しました。「サルビアの道」の再現は、本市の盛り上げ策として行われ、フラワーセンターからサルビア3,000鉢、大黒池防災広場からプランター925個、倉庫から三段棚を245個それぞれ運搬し、コースに設置しました。



須賀川市57年ぶりの聖火リレー
大成功となった「サルビアの道」

リレー通過時には、須賀川高校生73人と須賀川桐陽高校生87人が参加協力し、須賀川橋やゴール付近でサルビアの鉢を手
に持ち聖火ランナーを応援し、念願叶い57年ぶりに「サルビアの道」が再現されました。
また、本会監事の増子理江子さんと会員の溝井賢一郎さんが聖火ランナーを務め、円谷ランナーズの子どもたちが本市最終
ランナーである君原健二さんのサポートランナーとして追走しました。





聖火リレー後のフォトセッション

君原健二さんと幸吉選手の兄・喜久造さん

幸吉選手の盟友であり1968年メキシコオリンピックマラソン競技銀メダリストの君原健二さんが、本市聖火リレーの最終ランナーを務めました。

君原さんは「幸吉選手と一緒にランナーを」との思いから、ユニフォームの下に幸吉選手の写真を忍ばせ、ゴール後は幸吉選手の兄・喜久造さんとサルビアとともに写真撮影されました。



「相澤晃応援団」へのサルビア贈呈式と「相澤ロード」



本会は、須賀川市出身としては円谷幸吉選手以来のオリンピックとなる相澤晃選手を応援するため、聖火リレーで飾られたサルビア700鉢を相澤晃応援団に贈呈しました。

長沼中学校前のフラワーロードにサルビアが設置され、「相澤ロード」と名付けられています。

1964年東京オリンピック 須賀川市聖火リレーのようす

1964年9月30日



令和3年度事業

月日	内容	参加人数
4月5日	市内小・中・高校へサルビア贈呈(29校783鉢・プランター261・三段棚87)	13
4月19日	「サルビアの道」事業協議(関係団体)	6
4月21日	「サルビアの道」里親募集	11
5月13日	「サルビアの道」に係るサルビア移植・飾花作業(500鉢、3,000本)	33
5月13日	役員会	6
5月13日～11月7日	里親によるサルビア管理	100
5月27日	しながわ花海道にて本会の活動パネル掲示	2
7月30日	相澤晃選手 応援事業【中止】	-
8月19日	一部サルビアの撤去作業(枯れや病気)	8
10月9日	「サルビアの種」を市に贈呈	4
10月17日	「サルビアの種」配布開始(円谷幸吉メモリアルホールリニューアルオープン)	7
10月17日	「サルビアの種」を円谷幸吉メモリアルマラソン大会参加者に配付	240
11月5日	サルビア里親へのお礼状送付	11
11月7日	サルビア回収作業	17
1月8日	幸吉選手の墓参り	19
1月9日	「サルビアの種」を令和4年新成人に配付	660
3月予定	活動記録誌作成	-
3月予定	総会	-
3月予定	お礼広告掲載	-



相澤ロード(長沼中学校前)

小・中・高校へサルビア贈呈 2021.4.5



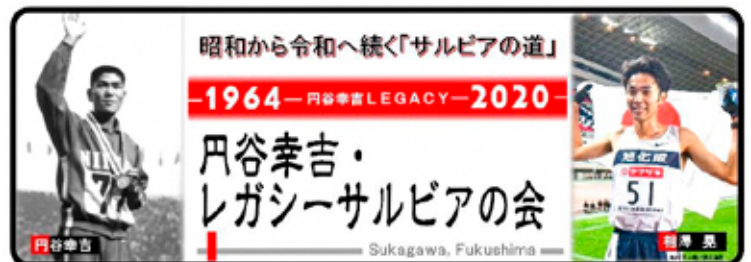
聖火リレーで使用したサルビアを小・中学校、高校合わせて29校に配布しました。(写真は須賀川一小)

サルビア移植・飾花作業 2021.5.13 協力:フラワーセンター



幸吉選手の誕生日に合わせ、事業3回目となる「サルビアの道」再現と、東京2020オリンピックを盛り上げるため、移植作業と配置作業を同日に行いました。

500鉢(3,000本)は、円谷幸吉メモリアルパークや聖火リレーのコース沿いである松明通りを中心に飾りました。



プランター用のステッカー第3弾

円谷幸吉選手の顕彰を図るとともに、オリンピックとなる相澤晃選手(陸上競技男子10000m代表)を応援するためのデザインです。

「サルビアの種」市に贈呈

2021.10.9
須賀川アリーナ



種と案内文

幸吉選手の兄・喜久造さんからサルビアの種を譲り受け、東京2020オリンピック聖火リレーを盛り上げるべく「サルビアの道」を再現することができました。

その代々受け継がれてきたサルビアから採取した様々な思いの詰まった「種」を、須賀川市に贈呈しました。種は、幸吉選手が1964年東京オリンピックに出場した際のナンバーカードにちなみ、1袋に7粒入れました。市は円谷幸吉メモリアルホール来場者、円谷幸吉メモリアルマラソン参加者、令和4年成人式に参加した新成人の皆さんなどに配布しました。

サルビア飾花事業の継承



大町町内会や(公財)須賀川市スポーツ振興協会の協力を得て、「円谷幸吉メモリアルパーク」と「須賀川アリーナ」の飾花は継承されます。

相澤晃選手

東京 2020 オリンピック陸上競技男子10000m出場



写真は市主催のオンライン壮行会 2021.7.4 tette 円谷ランナーズの子もたちが横断幕を掲げ、相澤選手を激励しました。

相澤晃選手が2021年7月30日陸上競技男子10000m決勝に臨みました。後半から一気にペースアップする展開に、二人が途中棄権するなど厳しいレースとなりましたが、持ち前の粘りを見せ17位でゴール。相澤選手のひたむきで不屈の走りは、須賀川市民のみならず多くの人たちに、勇気と感動を与えてくれました。



円谷幸吉・レガシーサルビアの会 ご協賛名簿

※敬称略

五十音順での紹介とさせていただきます

企業

有限会社明石田製麺店
有限会社あさひ観光
株式会社アサヒビルサービス県南営業所
Aburaya(あぶらや)
有我商店
有限会社井桁屋本舗大黒亭
有限会社いちむら
一品料理五月
株式会社伊藤薬局
伊藤理容院
有限会社井上燃料店
岩本自動車修理工場
遠藤歯科医院
大内新興化学工業株式会社須賀川工場
大高眼科医院
大槻輪業商会
株式会社鍵清パン店
かぎ浜菓子店
有限会社カゲヤマ作画社
カシワバラ洋品店
加登屋青果店
株式会社釜屋
株式会社鑑工スアール工業
有限会社北山陶器店
有限会社久保木畳店
グランシア須賀川
公立岩瀬病院企業団
有限会社ササキ靴店
城南信用金庫

株式会社常陽銀行 須賀川支店
有限会社寝具とインテリアの店大山
株式会社末原屋
須賀川柏屋
有限会社すかがわケンネル
須賀川信用金庫
須賀川西部・西川地区商工業会
須田商店
青藍書道会
税理士法人アイワ会計
株式会社大東銀行 須賀川支店
高見屋精肉店
ツムラヤ紙店
株式会社東邦銀行 須賀川支店
トキワ印刷株式会社
有限会社ドルチェ
有限会社トン珍
株式会社ニイダテック
西村美研
有限会社日用商会
メガネのヨネクラ
農林中央金庫
有限会社芳賀生花店
萩の井
有限会社白光堂デンキ店
はまだや
林精器製造株式会社
東日本旅客鉄道株式会社郡山地区センター
ビジネスの宿 新鶴屋

株式会社ひまわり
株式会社福島銀行 須賀川支店
福島空港ビル株式会社
福島縣商工信用組合 須賀川支店
株式会社フクチ
有限会社フレッシュミートやまがみ
ベーカリーカフェ アンジュール
ホテルウイングインターナショナル須賀川
ホテルサンルート須賀川
ホテル虎屋
株式会社保土原屋
株式会社毎日民報販売センター
丸和水産株式会社
有限会社三河屋商店
有限会社水野教材社
株式会社瑞穂不動産
美登利寿司
有限会社宮坂商事
焼き鳥 とり峰
有限会社八木屋金物店
有限会社ヤハタ電化センター
有限会社大和屋紙店
有限会社山吉吉田商店
夢みなみ農業協同組合
ヨシカワ
吉田医院
株式会社渡清建材店

団体

安全運転管理須賀川事業主会
馬町町内会
NPO 法人しながわ花海道
大町町内会
三丁目町内会
須賀川市上北町商店振興会
須賀川市管工事協同組合
須賀川市建設業者協議会
須賀川市宮先町商店街振興組合
須賀川商工会議所
須賀川除染支援事業協同組合
須賀川建物管理事業協同組合

須賀川地区安全運転管理者協会
須賀川地区交通安全協会
須賀川中央商店街振興組合
須賀川中央商店街振興組合震災復興グループ
須賀川中央ライオンズクラブ
須賀川ぼたんロータリークラブ
須賀川ライオンズクラブ
須賀川理容組合
須賀川ロータリークラブ
東京須賀川会
福島県建設業協会 須賀川支部
福島県立須賀川高等学校同窓会玉川支部

福島県立須賀川高等学校同窓会東京支部
福島県立須賀川高等学校同窓会矢吹支部
四丁目子ども育成会
四丁目青壮年会
四丁目第1方部
四丁目第2方部
四丁目第3方部
四丁目第4方部
四丁目長寿会
四丁目町内会
四丁目婦人会

個人

安部 嘉明
岩谷 定芳
大倉 雅志
小栗山 茂

小野口 進
佐藤 富二
鈴木 智子
円谷 明子

永山 三良
西山 征平
根本 義治
平栗 栄

星 明江
堀江 祐介
柳沼 勝馬
安田 喜好

箭内 良彦
山崎 利男
吉田 幸治
吉田 正男

円谷幸吉・レガシーサルビアの会 役員

顧問 円谷喜久造 円谷幸吉選手実兄
顧問 宗方 保 須賀川南部地区町内会協議会 顧問
会長 安藤 喜勝 須賀川市体育協会 会長
副会長 小栗山 茂 須賀川高等学校同窓会 会長
副会長 堀江 祐介 須賀川商店会連合会 会長
副会長 大倉 秀夫 須賀川南部地区町内会協議会 会長
会計 鈴木 明 須賀川南部地区町内会協議会 事務局次長
監事 増子理江子 須賀川高等学校同窓会 副会長
監事 熊谷 英訓 須賀川商店会連合会 事務局(設立~令和2年度)
監事 国分 英樹 須賀川商店会連合会 事務局(熊谷氏後任)

発行 2022年3月



「円谷幸吉・レガシーサルビアの会」の紹介とサルビアの詳しい育て方は右のQRコードから



令和3年12月25日に福島テレビで放送された円谷幸吉選手のレガシーを継承する番組「あなたが、未来に、くれたもの。」の再編集版を右のQRコードからご覧いただけます。

